

水のみち構想

～市民から愛される

新発田川の再生をめざして～



平成24年11月

 新発田市

1 はじめに

まちなかを流れる新発田川は、かつては水上交通の水路としての役割をはじめ、飲み水や洗い物など住民の生活用水に利用されたり、水浴びや魚捕りなど憩いの場として、日常生活に深い関わりを持ち、人々に恩恵を与えてきました。

また、新発田川は、新発田城の築城の際、人工的に河道を変え、防御の役割を担うなど、新発田のまちの形成において、深く関わりのある川でもあります。

一方、近年のモータリゼーションの進展や市街化区域の拡大によって、既成市街地の集積力は大きく低下しています。また、空き店舗の増加などの状況がみられ、居住人口の減少も伴って、中心市街地の衰退・空洞化が課題となっています。

そこで、まちの骨格の形成や生活に密着した川である新発田川を「水のみち」として位置付け、この新発田川を再生、整備し、市民はもとより来訪者が集い、交流が生まれる場とすることで、まちなかの再生を図ることとしています。

2 水のみち構想策定について

「水のみち」構想の策定にあたっては、まちづくり関係団体、新発田川沿いの町内会、学識経験者及び市職員から構成される「水のみち構想策定委員会」を立ち上げ、全4回に渡って、水のみちについて現状把握、課題等の整理、整備の方向性等について議論しました。

本構想では、まちなかを流れる新発田川のうち、「立売橋」から「鍛冶橋」までの区間について検討しました。

◆委員会における検討経過

第1回水のみち構想策定委員会 (平成24年5月30日開催)	「水のみち構想」の目的について共通認識を持ち、各委員の新発田川に対する想いについて意見交換を行いました。
第2回水のみち構想策定委員会 (平成24年7月5日開催)	「水のみち」の現地調査を行い、良い点、悪い点、課題等について意見交換を行いました。
新潟県立新発田南高等学校生 インターンシップ受入れ (平成24年7月26日開催)	土木工学科2年生と3年生に、第2回委員会と同様の現地調査を行ってもらい、若い人の視点から課題整理を行いました。
第3回水のみち構想策定委員会 (平成24年8月8日開催)	第1回、第2回委員会で各委員から出た意見等を整理し、構想の方向性について議論しました。
第4回水のみち構想策定委員会 (平成24年10月31日開催)	「水のみち構想」について議論し、最終的な「構想」の形を確認しました。

◆委員会の様子

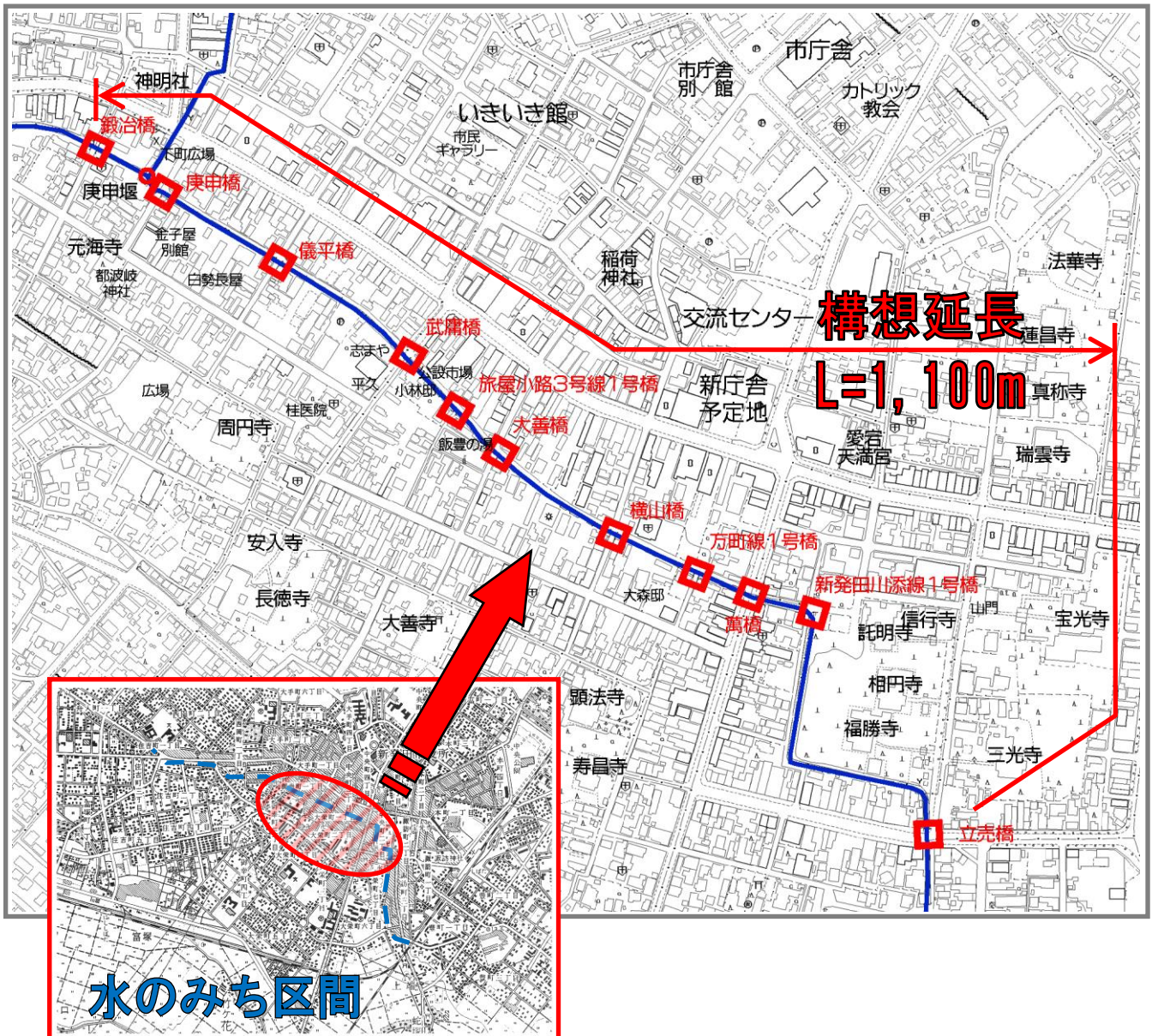


会議の様子



現地調査の様子

◆水のみち構想において検討した区間



3 新発田川の現状と課題について

新発田川の現状を水のみち構想策定委員会で検討した結果、次の3つの課題が見えてきました。

(1) 水の状態

現状

- ×水量が時期によって変わる。
- ×水量が少なくヘドロ状態になり、臭う。
- ×生活排水が流入している。
- ×川藻にゴミが引っ掛かる。
- 水草があることで水の流れがきれいに見える。



課題

水の状態の改善



川藻にゴミが引っ掛かっている様子



水の流れがきれいな様子

(2) 地域との連携

現状

- ×川に関心がない人が多い。
- あやめや花の植栽が行われている。
- 川清掃を行っている。
- 小学校の学習活動が行われている。



課題

地域と連携したまちづくりの推進



あやめの植栽活動の様子



川清掃の様子



学習活動の様子

(3) 川沿いの環境

現 状

- ×橋の欄干が破損している。
- ×川沿いの道に統一感がない。
- ×周遊ルートがない。
- ×街灯が少なく、夜になると暗い。
- ×車が来ると道幅が狭く歩きにくい。
- 川沿いに歴史的な資産がある。



課 題

川沿いの環境改善

《橋の欄干の破損の様子》



武庸橋



大善橋

《防護柵の破損の様子》



《車が通ると歩行者が危険な様子》



《川沿いにある資産》



川戸



土蔵

4 基本方針と目標

これら3つの課題を改善するために、次のとおり基本方針と目標を定めました。

基本方針

■市民から愛される水のみち

人と川とのつながりを取り戻し、親しみやすく、豊かできれいな水が流れる新発田川の再生を図ります。

■歴史を活かし、調和のとれた水のみち

- ・歴史、文化を活かした風情のある川沿いの景観を整備します。
- ・点在する歴史資産や伝統文化をつなぐ「みち」を整備します。

「水のみち」は、短期的には、市道橋・道路等の整備や歩きやすい環境の整備など主に「ハード面の整備」に力を入れるとともに、新発田川沿いの美化・清掃活動の推進などの取り組みも継続して進めていきます。

また、それらと併せて、「水質・水量の改善」といった時間のかかるものについては、各種団体等と連携しつつ、中・長期的な視点で順次実施していくこととします。

基本方針	目 標
市民から愛される水のみち	<ul style="list-style-type: none"> ●水量確保に向けた取り組みの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人等と連携し、環境用水における水利権取得の検討、研究などの取り組みを進めます。 ●水質向上のため、下水道接続を促進 <ul style="list-style-type: none"> ・生活雑排水の新発田川への流入を防ぐため、下水道への接続を促進します。 ●新発田川沿いの美化、清掃活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・川の維持管理に努めるとともに、地域住民と協力し、川をきれいにしましょう運動等の環境美化活動を進めます。 ●川と触れ合い、人との交流が生まれる環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・新発田川を中心に人が集まり、川に親しめる水辺環境（ポケットパーク等）の整備を図ります。 ・地域住民による川沿いの緑化活動等を進め、歩いて楽しい環境の整備を図ります。
歴史を活かし、調和のとれた水のみち	<ul style="list-style-type: none"> ●川沿いの景観づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・景観に配慮した整備ができるよう市民とともに景観づくりを進めます。 ●地域に点在する歴史資産をつなぐ周遊ルートの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・地域に点在する歴史資産を核に、伝統文化や食などを含めた周遊ルートの作成を進めます。 ●市道橋や道路等の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史背景や伝統文化、市民の生活に密着した新発田川沿いの今ある風情を活かし、防災機能にも配慮した市道橋や道路等を整備します。 ●歩きやすい環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安全に歩けるような環境を整備します。

水のみちイメージ図については、これまで検討してきた次の内容を基に作成しました。

《特徴》

- 破損した橋の欄干や防護柵、護岸等は、歴史背景や伝統文化、市民の生活に密着した新発田川沿いの今ある風情を活かしたものにしています。
- 川沿いにあやめの植栽やプランターを置くなどして、歩いて楽しい工夫をしています。
- 子どもから大人まで、川に棲む生物を眺め、川に親しめる憩いの場を設けています。

なお、これらのイメージ図は、現段階でのものであり、整備計画に基づき整備を進めていく中で、随時改善を図っていきます。



武蔵橋周辺



寺町周辺



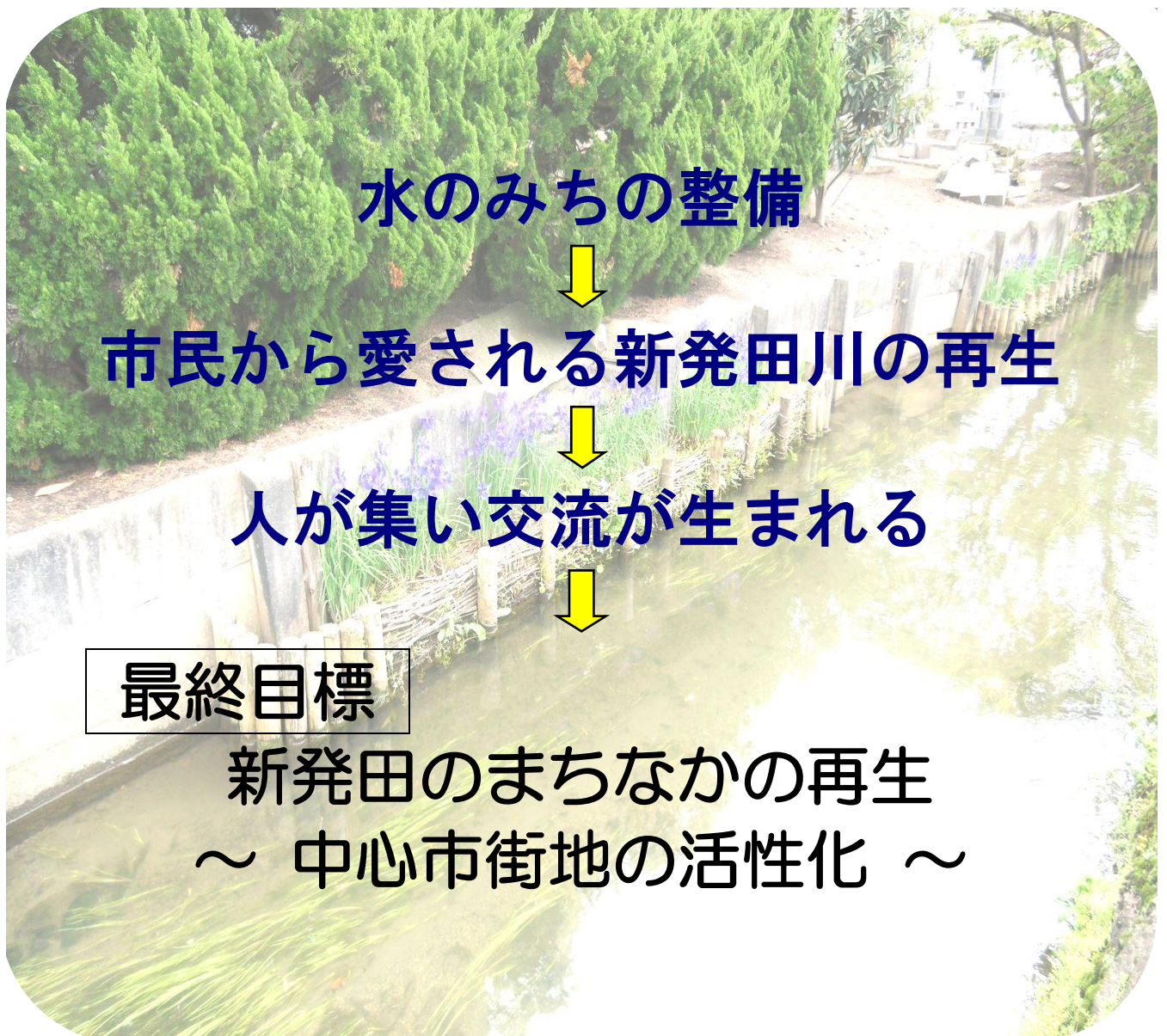
三之町会館周辺

本構想に基づき、今後、「水のみち整備計画」を策定することとします。

計画に沿って「水のみち」の整備を進めることで、現在、市民からの関心が少なくなってしまう新発田川をもう一度「市民から愛される川」へと生まれ変わらせ、市民生活の基点とするとともに、来訪者の観光拠点としても位置付けていきます。

こうして「人」が集まることで川の周りに「交流」が生まれ、そして、その「人と人との交流」から「新発田のまちなかの再生」～「中心市街地の活性化」へとつなげていくことが本構想の最終目標です。

しかしながら、この「水のみち」の最終的な実現には、地域住民と一体となった息の長い継続的な取り組みが必要であると考えます。こうした地域住民との協力体制の推進や他事業との連動を図りながら、効果的に整備を進め、この構想区間のみならず、水のみち区間全体の取り組みとすることで、中心市街地のにぎわい創出を図っていきます。



(発行) 新発田市地域整備部都市整備課
〒957-0053 新潟県新発田市中央町 5-2-13
TEL : (0254) 22-3101 (大代表)
FAX : (0254) 26-3559
E-mail : tosiseibi@city.shibata.lg.jp